

# 志賀原子力発電所2号機

## 主発電機第10軸受シールケースの油切りの変形について

志賀原子力発電所2号機は、能登半島地震の影響を確認するため、主発電機軸受の分解点検を実施したところ、5月25日に第10軸受のシールケースの油切り\*が変形していることを確認しました。

変形は、回転子が低圧タービンと接続されていなかったことから、地震の影響により回転子が第10軸受側に移動し、回転子の軸とシールケースの油切りが接触して発生したものと考えられます。油切りは今後、新品に取り替えることといたします。

なお、現在、主発電機全体の点検を実施中であり、これまでのところその他の箇所については異常がないことを確認しております。

外部への放射能による影響はありません。

\*：シールケースの油切り

発電機冷却用の水素ガスが空気側に漏れいしないように軸の隙間を油で密封しており、その油が発電機側に流れていかないように油切りを設けている。

